

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】令和7年1月23日(2025.1.23)

【公開番号】特開2023-59496(P2023-59496A)  
【公開日】令和5年4月27日(2023.4.27)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-079  
【出願番号】特願2021-169548(P2021-169548)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B  
A 6 3 F 5/04 6 1 1 A  
A 6 3 F 5/04 6 1 3 A  
A 6 3 F 5/04 6 0 2 D

【手続補正書】

【提出日】令和7年1月15日(2025.1.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、該可変表示部の表示結果に応じて入賞が発生可能な遊技機であって、

遊技者が操作可能な操作手段と、

音を出力可能な音出力手段と、

前記遊技機に対する電力供給が停止されているときに、電力供給が停止される前の遊技状態を保持可能なバックアップ手段と、

30

画像を表示可能な表示手段と、を備え、

前記操作手段は、遊技用価値を遊技者に返却するために操作される返却操作手段を含み、

前記バックアップ手段は、前記遊技機に対する電力供給が停止されているときに前記遊技状態を保持し、

前記表示手段は、前記可変表示部の前面に設けられた表示領域を含み、

前記表示領域は、前記可変表示部を遊技者に視認させるために透過可能な透過領域と、当該透過領域以外他領域とを含み、

前記表示手段は、

前記遊技機に対する電力供給が停止した後に当該電力供給が再開され、かつ、前記バックアップ手段によって保持された前記遊技状態で遊技が再開されるときに、復帰中画像を表示し、

40

前記遊技機に対する電力供給が行われていないときは、前記透過領域を介して前記可変表示部を遊技者が視認不可能または視認困難な態様になり、

前記遊技機に対する電力供給が再開されたときは、前記他領域に前記復帰中画像が表示されるまでに、前記透過領域を介して前記可変表示部を遊技者が視認可能な態様になり、

前記遊技機に対する電力供給が再開されたときは、前記他領域に前記復帰中画像が表示されるまでに、前記可変表示部の変動表示を開始させるための開始条件が成立せず、前記他領域に前記復帰中画像が表示された後に前記開始条件が成立した場合、前記復帰中画像

50

が表示された状態で前記可変表示部の変動表示が開始され、

前記表示手段は、

前記復帰中画像が表示されていないときに、前記返却操作手段の操作により遊技用価値が遊技者に返却されることに基づいて、遊技が行われていない期間において表示可能な画像であるデモンストレーション画像を表示する一方で、

前記復帰中画像が表示されているときに、前記返却操作手段の操作により遊技用価値が遊技者に返却される場合であっても、前記デモンストレーション画像を表示せず、当該復帰中画像を継続して表示し、

前記遊技状態は、通常状態と当該通常状態とは異なる特定状態とを含み、

前記音出力手段は、前記特定状態において該特定状態に応じた特定楽曲音を出力可能であり、

前記音出力手段は、前記復帰中画像の表示中において、

前記バックアップ手段によって保持された前記遊技状態が前記特定状態であっても、前記特定楽曲音を出力しない一方で、

遊技を進行させるために前記操作手段が操作されたことに基づいて、効果音を出力する、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

電源供給が停止した後に、電源供給が停止する前の遊技状態を保持し、電源供給が再開されたときに、保持していた遊技状態で再開する遊技機が存在する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

このような遊技機において、電源供給が再開されたときに表示制御の準備を行っている旨を示す準備中画像を表示させる遊技機が公知である（たとえば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献 1】特開 2019 - 092833 号公報

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、かかる実情に鑑み考え出されたものであり、その目的は、復帰中画像の表示時の制御に関して改良を施した遊技機を提供することである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

## 【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0007】

各々が識別可能な複数種類の識別情報を変動表示可能な可変表示部を備え、該可変表示部の表示結果に応じて入賞が発生可能な遊技機であって、

遊技者が操作可能な操作手段と、

音を出力可能な音出力手段と、

前記遊技機に対する電力供給が停止されているときに、電力供給が停止される前の遊技状態を保持可能なバックアップ手段と、

画像を表示可能な表示手段と、を備え、

10

前記操作手段は、遊技用価値を遊技者に返却するために操作される返却操作手段を含み、

前記バックアップ手段は、前記遊技機に対する電力供給が停止されているときに前記遊技状態を保持し、

前記表示手段は、前記可変表示部の前面に設けられた表示領域を含み、

前記表示領域は、前記可変表示部を遊技者に視認させるために透過可能な透過領域と、当該透過領域以外の他領域とを含み、

前記表示手段は、

前記遊技機に対する電力供給が停止した後に当該電力供給が再開され、かつ、前記バックアップ手段によって保持された前記遊技状態で遊技が再開されるときに、復帰中画像を表示し、

20

前記遊技機に対する電力供給が行われていないときは、前記透過領域を介して前記可変表示部を遊技者が視認不可能または視認困難な態様になり、

前記遊技機に対する電力供給が再開されたときは、前記他領域に前記復帰中画像が表示されるまでに、前記透過領域を介して前記可変表示部を遊技者が視認可能な態様になり

前記遊技機に対する電力供給が再開されたときは、前記他領域に前記復帰中画像が表示されるまでに、前記可変表示部の変動表示を開始させるための開始条件が成立せず、前記他領域に前記復帰中画像が表示された後に前記開始条件が成立した場合、前記復帰中画像が表示された状態で前記可変表示部の変動表示が開始され、

前記表示手段は、

30

前記復帰中画像が表示されていないときに、前記返却操作手段の操作により遊技用価値が遊技者に返却されることに基づいて、遊技が行われていない期間において表示可能な画像であるデモンストレーション画像を表示する一方で、

前記復帰中画像が表示されているときに、前記返却操作手段の操作により遊技用価値が遊技者に返却される場合であっても、前記デモンストレーション画像を表示せず、当該復帰中画像を継続して表示し、

前記遊技状態は、通常状態と当該通常状態とは異なる特定状態とを含み、

前記音出力手段は、前記特定状態において該特定状態に応じた特定楽曲音を出力可能であり、

前記音出力手段は、前記復帰中画像の表示中において、

40

前記バックアップ手段によって保持された前記遊技状態が前記特定状態であっても、前記特定楽曲音を出力しない一方で、

遊技を進行させるために前記操作手段が操作されたことに基づいて、効果音を出力する。